

小矢部市まちづくり研究会 (第5期生)研究成果報告書

活動期間:平成 26~27 年度



平成 28 年2月

目 次

はじめに	1
第 1 章 研究会の活動の概要	
1. まちづくり研究会の設立経緯	2
2. 研究活動経過	2
3. まちづくり研究会（第 5 期生）の体制	7
第 2 章 研究会の活動及び成果報告	
1. 先進地視察研修報告	8
2. 研究成果報告	
・ 目指せ全国区！メルメルプロジェクト.....	13
・ 小矢部市の健康寿命をのばそう！健康ポイント制度の導入	26
・ 転入者を地域に！『おやべ暮らし』の発行	41
各委員の活動を終えての感想	54
参考資料	
資料 先進地視察研修報告（各委員の感想）	57

はじめに

国は、2008年に始まった人口減少が今後加速度的に進み、人口減少による消費・経済力の低下は日本の経済社会に対して大きな重荷になるとして、人口減少に歯止めをかけ、将来にわたって活力ある日本社会の維持を目指すため「まち・ひと・しごと創生 長期ビジョン・総合戦略」を策定しました。

これを受け、小矢部市でも平成 27 年 10 月に『おやベルネサンス総合戦略～「再生」から「創世」へ～』を策定し、地域の主体性や力量が問われてくる中、「交流・定住を促進する地域力の創造」「住み続けたいくなる安心・快適なまちの創造」を含めた4つの目標・基本的方向を掲げ、将来にわたって持続的で直接的な効果を目指した施策の展開を進めています。

また、こうした流れの以前から、小矢部市では、将来の都市像を「住んでみたいと思える魅力のあるまち、住み続けたいと思える安心感のあるまち、住んで良かったと思える充実感のあるまち」と掲げ、旧来の行政主導型にとどまらない方法で、これらの目標に向けた政策を進めてきています。そして、「小矢部市まちづくり研究会」は、市民と行政が協力し、より良いまちづくりについて議論や研究を進める場として、平成 17 年度に設置されました。

活動は、第 1 期生（平成 17～18 年度）から始まり、第 2 期生（平成 20～21 年度）、第 3 期生（平成 22～23 年度）、第 4 期生（平成 24～25 年度）を経て、今回の第 5 期生（平成 26～27 年度）に至ります。公募等による市民 3 人、市職員 4 人の計 7 人で構成し、平成 26 年 7 月に活動を始めました。そして、翌年 3 月には「地域の教科書づくり～定住人口増加への取組み～」ほか 1 つのテーマについて市長に中間報告を行い、2 年目（平成 27 年度）も新たに「メルメルプロジェクト」「健康ポイント制度」をテーマに加えて、研究に取り組んで参りました。

この報告書は、約 2 年間の活動期間に出された様々な意見やアイデアを取りまとめたものです。今後、この提案を小矢部市のまちづくりに活かしていただき、「魅力・安心・充実」の都市像の実現の一助となることを願います。